

●東海地震の想定震源域及びその周辺の地震活動

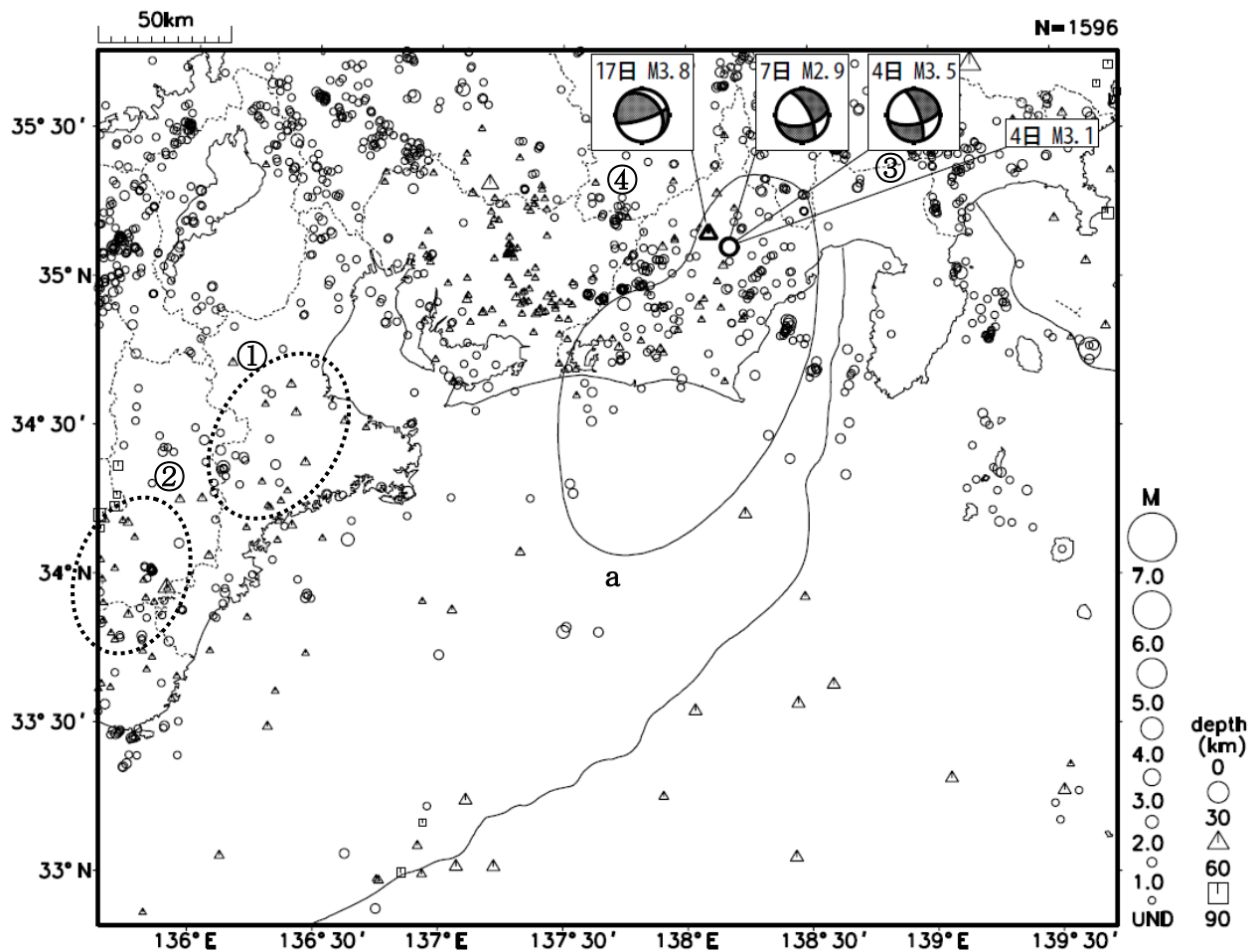


図1 震央分布図(2017年9月1日~30日:深さ0~90km、Mすべて。図中の領域aは東海地震の想定震源域。)

[概況]

特に目立った活動はなかった。

- ① 9月3日から4日にかけて、14日、21日、29日に、三重県を震央とする深部低周波地震を観測した。
- ② 9月3日から5日にかけて、奈良県から和歌山県を震央とする深部低周波地震を観測した。
- ③ 9月4日07時38分に静岡県中部の深さ13kmでM3.5の地震(最大震度1)が発生した。9月7日00時48分にもほぼ同じ場所でもM2.9の地震(最大震度1)が発生した。これらの地震は、地殻内で発生した。発震機構は、いずれも西北西-東南東方向に圧力軸を持つ横ずれ断層型である。これらの地震の震源付近では、9月4日以降、ややまとまった地震活動となっている。
- ④ 9月17日04時12分に、静岡県中部の深さ34kmでM3.8の地震(最大震度2)が発生した。この地震の発震機構は、北西-南東方向に張力軸を持つ型で、フィリピン海プレート内部で発生した。

注 冒頭の番号は図1中の数字に対応する